

片瀬のぞみだより

片瀬のぞみ幼稚園

2020年9月号

家庭通信 2020 No.8



「友だちとともに」

9月主題聖句

「あなたがたを友と呼ぶ」 ヨハネによる福音書 15章 15節

「もはや、わたしはあなたがたを僕しもべとは呼ばない。僕は主人が何をしているか知らないからである。わたしはあなたがたを友と呼ぶ。父から聞いたことを全てあなたがたに知らせたからである。」
ヨハネによる福音書 15章 15節

「友」と言うと、夏目漱石の小説「こころ」を思い出します。主人公わたしは先生と鎌倉の海で出会い交流が始まった。そしてあるとき先生から長い手紙をもらい、そこには先生の人生の振り返りが認められていた。……

それによるとお嬢さん静を好いていた同室の友Kを先生は出し抜いてお嬢さん静と結婚をしてしまう。それを知ったKは自殺してしまう。Kからもらった遺書を恐る恐る読んだが恨みがましい事は何一つ書かれていなかったことに安堵するのだがKを裏切った自責の念に苛まれます。「おれは策略で勝っても人間としては負けたのだ」と、策略で恋の争いに勝ったものの、裏切られてなお自分を責めないKの方が人間としても立派である事を感じる。

先生はかつて叔父から財産上の裏切りを受けたことがあったが、いまや嫉妬心が競争心になり、友を裏切り、略奪結婚した先生は奥さん静とはしっくりいかず、明治天皇崩御と乃木大将の殉死を契機に先生は自死するのだが、その前にこの手紙を遺したのです……。

人間のこころの奥に潜む苦々しい裏切りの体験の最中であって「友」とは何かを考えさせられる作品です。

主イエスは裏切りやゆがみや欠点のある私どもの友になって下さった。その友なるイエスは私どもを裏切らない、真実な方です。

「わたしたちが誠実でなくとも、キリストは常に真実であられる。」Ⅱテモテ 2章 13節

「友のために自分の命を捨てる事、これ以上に大きな愛はない」ヨハネ 15章 13節 この言葉通り主イエスは友なるわたしたちの為に十字架に架かって命を捨てられました。

そのキリストの愛を受けて二学期を始めます。私どもは子どものこころを裏切らない友として子どもの前に立つことを願っています。相変わらずコロナ禍が蔓延しています。安全・安心を謳い、しかし怯むことなく、病気に対して謙虚な思いをもって始めます。